

PART 4 記念撮影

3か月5回に渡るワークショップへの参加、お疲れ様でした。芦屋のAで記念撮影！



今後の予定 2月 個別相談会
3月 リニューアルした「あしや市民活動センター」見学ツアー
※日程と内容については追ってご連絡します。

連続ゼミ

今年いっぱい、芦屋のまちと暮らしを素敵にデザインするための連続ゼミが開かれます。※連続ゼミの参加申込は締め切りました。

開催日とテーマ

- 第1回 10月10日(水) 済 楽しみ方をデザインする チューター/東村奈保さん(NPO法人ソーシエ代表理事)
- 第2回 10月24日(水) 済 働き方をデザインする チューター/山森彩(合同会社ユブネ プロジェクトマネージャー)
- 第3回 11月7日(水) 済 つながり方をデザインする チューター/村上豪英さん(神戸モトマチ大学、アーバンピクニック主宰)
- 第4回 11月21日(水) 済 まちをデザインする チューター/中脇健児さん(場とコトLAB主宰)
- 第5回 12月5日(水) 済 発表! 私たちの「芦屋×自分×デザイン」

お問合せ / 芦屋市役所市民参画課 芦屋市精道町7番6号 TEL 0797-38-2007 9:00~17:30



芦屋 まちデザインラボ ニュースレター
ASHIYA MACHI DESIGN LABO.



NEWS LETTER

Vol. 6

2018

12/5 水

第5回ゼミ 発表「芦屋×自分×デザイン」



芦屋のまちの
学び、考える、
みんな
みんなで

開催日 2018年12月5日(水) 19:00~21:00 会場 あしや市民活動センター2階会議室

たのしくワクワクできるまちに住みたい、働きたい。
そんな思いを実現するために、私たちはどんなコトをすればいいのか、
どんなモノがあればいいのかを、一緒に考えたり学んだりする
「芦屋まちデザインラボ」の第5回ゼミ(最終回)が開催されました。

第5回ゼミは、自分たちのプランを発表する「発表会」です。
今まで4回に渡り学んだり考えたりしてきたことを駆使して、
自分のやりたいことをまとめ、みんなの前でプレゼンテーションしました。

PART 1 本日のワーク「2つのアプローチ法を体験する」

- ① テーブル内で各自のできることをなるべくたくさん付箋に書き出す。
- ② その付箋を見ながら(できることを見ながら)、各テーブルで始めるといい事業を考える。



出てきた事業案

A テーブル

手先の器用な人+情報発信が得意な人+芦屋には情報誌がない=便利な人+芦屋さんを頼める芦屋の情報誌の出版事業

B テーブル

旅好きの人+デザインができる人=オリジナルトラベルグッズブランドの開発と、アドバイスや旅プラン提案付きで、そのブランドグッズを販売する店

C テーブル

アウトドア好きの人+多世代交流の場をつくりたい人+キャンプに詳しい人=芦屋アウトドアスクールの開催

- ③ 「夢の仕事」を付箋に書きだして、それを実現するための方法を考える。

各自が幼い頃または現在夢見る仕事を書き出して集め、その中から1枚を引いて、その仕事を実現するために何をしないといけないかを考える。



出てきた仕事と、実現のためにしないといけないこと

A テーブル

本屋さん→今までにない古本屋と定食屋の合体形→古本を扱うための古物商免許の獲得と定食屋をするための各種免許の獲得など

B テーブル

言葉売る店→その人が必要とする言葉や文章を対面販売する→店舗デザイン、名言リサーチ、人材育成、例文を書いた言葉カードの作成、現代の婚活に関する調査など

C テーブル

ミュージシャン→路上ライブからメジャーデビューを目指す⇒練習につき練習、仲間を見つける、グループ名を決める、プロデューサー・マネージャーを探す、トークの仕方やヘアメイクを学ぶなど。

TODAY'S LECTURE フォアキャストとバックキャスト

この2つのワークで参加者の皆さんが体験したのはフォアキャストとバックキャストと呼ばれる2種類の「ものごとを実現するためのアプローチ法」です。

①のワークで体験したのは「フォアキャスト法」

自分たちの持っている能力や技術や資産から何が出来るかを考える方法です。確実性を求める事業や、利益を求めない活動に適した手法で、あるものを生かす、無理はしない、できるようにやる、やりながら育てます。

②のワークで体験したのは「バックキャスト法」

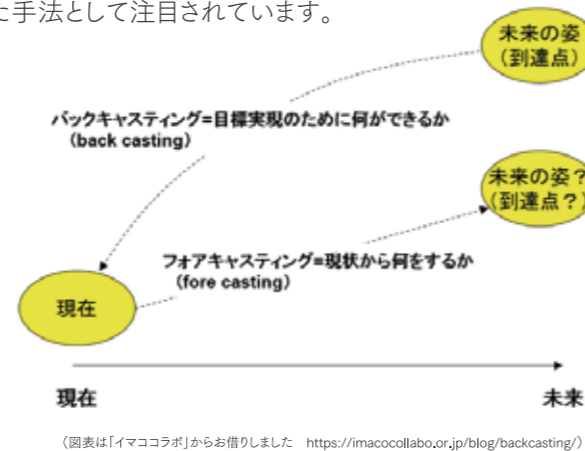
最初にゴールを決めて、そこに到達するために何を必要があるかを考える方法で地球温暖化などの環境問題解決や、拡大志向の事業経営計画を立てるのに適した手法として注目されています。

フォアキャストとバックキャスト、どちらが向いているかを考える。

- ① やろうとしていることは、どちらのアプローチが適しているか?
- ② 自分やメンバーの性格はどちらのアプローチに向いているか?

ミックスする方法もある。

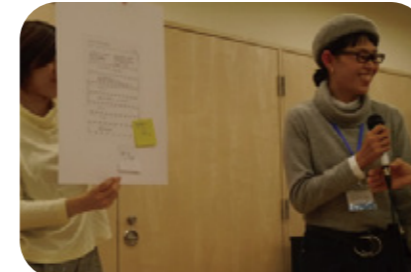
とりえず、目の前の事業や活動はフォアキャストで進め、一方でバックキャスト思考もしておく。良いタイミングでフォアキャストからバックキャストに乗り換える。



PART 2 プランを見て回り、感想やメッセージを付ける



PART 3 自分のプランを1人1分で発表



発表されたプラン

居場所づくり

地域共生社会の実現(子ども食堂など)

親子プログラミング教室

子どものための場所やイベントづくり

近隣コミュニケーション

左官プロデュース

ペーパークイリング教室

芦屋川ゴミひらいアスロン

自宅マンション内コモンスペースの活用

子ども話し方教室

企画塾

支え合える地域づくり

インターネットラジオ局の開設

けん玉カフェ

おばあちゃんになった自分の居場所づくり

誰でもバーベキュー大会

音楽ワークショップ&イベント